

# 災害時の外国人支援って何？

栃木県には、40,000人以上の外国人が暮らしています。  
災害が起こったとき、私たちは外国人住民とどのように助け合いながら乗り越えていけばいいのでしょうか。  
私たちと外国人住民が安心して毎日を送るため、災害時の外国人支援について必要な知識や心構えを学びます。

## ■災害時の外国人支援の基本

- なぜ外国人支援が必要なのか
- これまでの災害における支援事例

## ■外国人支援活動の疑似体験

- 被災した外国人の気持ちを考えてみよう！
- サポーターや行政の役割を理解しよう！

講演 &  
グループワーク



しばがき ただし  
講師 柴垣 禎 氏 (NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事、富山県職員)

2007年新潟中越沖地震時に外国人支援の活動に従事した経験から、(一財)自治体国際化協会の「災害多言語支援センター設置運営マニュアル」等の作成、また、2011年東日本大震災や2016年熊本地震等で、災害多言語支援センターの情報発信や支援関係者らのコーディネートを行う。今年7月の西日本豪雨災害や9月の北海道胆振東部地震では、被災状況を確認し、支援関係者へのアドバイス、タイムリーな情報発信を行う。

令和元年 **11月30日** (土)

13時30分～16時30分

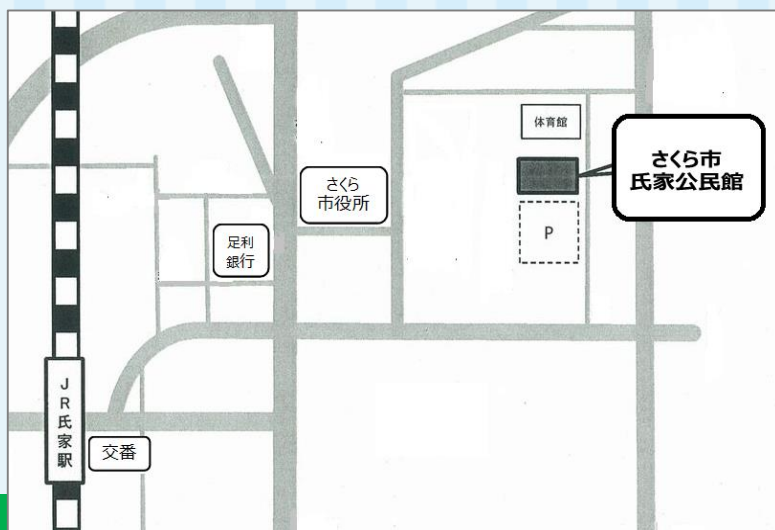
さくら市氏家公民館 (さくら市櫻野1322-8)

対象：一般 (日本人、外国人とも)

\*災害時の外国人支援に関心のある方など

定員：30名程度

参加費：無料



- お電話またはEメールでお申し込みください -  
公益財団法人栃木県国際交流協会

TEL 028-621-0777

Eメール info@tia21.or.jp (「サポーター養成講座」と明記の上、氏名、住所、電話番号をお送りください)

業務時間 火曜～土曜 8:30～17:15

※JR氏家駅東口から歩いて約15分

※駐車場あり